



寒い日が続きます。皆様いかがお過ごしですか。

静岡県は緊急事態宣言下の関東と愛知&関西に挟まれた状態となっています。商談や会議などは、ZOOM 等を活用したり
モートとなり、時間や経費等が節約でき効率的でもありますが、対面の機会が減っていることに寂しさも感じます。浜松市が毎日発表する「新型コロナウイルス感染症による患者確認」を見ると、感染の傾向は大都市での市中感染とは異なるようです。

浜松市の患者確認状況



表1は、アジア地域の新型コロナの感染状況です。インド、インドネシア、フィリピン、日本、マレーシアと続きます。(アジア経済交流センターでは、米国ジョンズ・ホプキンス大学「COVID-19 Dashboard」の数値を毎週金曜日頃に提供しています。↑ QR コードを参照)



タイの状況については、2021年1月5日バンコク産業情報センターのレポートをご参照下さい。



タイにおけるコロナ感染の再拡大

表1 アジア地域の新型コロナ感染症 1月20日現在 単位:人

国	感染者数	前週比	死亡者数	前週比
日本	352,128	41,394	4,872	753
中国	98,544	1,189	4,801	5
韓国	73,918	3,190	1,316	121
台湾	870	28	7	0
シンガポール	59,235	206	29	0
インドネシア	951,651	82,051	27,203	1,957
タイ	12,795	1,533	71	2
マレーシア	172,549	24,694	642	64
フィリピン	507,717	13,112	10,116	377
ベトナム	1,546	15	35	0
ミャンマー	136,166	3,301	3,013	101
インド	10,610,883	98,790	152,869	1,142

出典:アジア経済交流センター

米国では、バイデン大統領が就任しました。トランプ前大統領が進めた政策を転換し、地球温暖化対策の国際枠組みである「パリ協定」への復帰や、世界保健機構(WHO)脱退手続きの中止、イスラム圏からの入国規制措置の撤廃など、米国第一主義から国際協調と融和へ舵を切り替えました。コロナ禍で国境を越えた人の行き来が途絶える中、明るい政策となっていると思います。

浜松市 奨学金返還 支援事業



浜松市では、市内の「*認定企業」の協力を得て、それらの認定企業にUターン等で就職する若者へ、奨学金の返還を支援する制度を開始する。来月3月から認定企業の募集を始め、今秋10月から補助対象者を募集する。対象者への支援額は、1人あたり、年間最大18万円を3年間支援し、最大で合計54万円となっている。

<*認定企業>

新入社員の奨学金返還補助金の費用に充てるための協力金(1人あたり年間最大9万円(3年間合計27万円))を市に納付する中小企業で、中小企業からの申請により市が認定する。

「**ワーク・ライフ・バランス等推進事業所」及び「***高齢者活躍宣言事業所」については、インセンティブとして、協力金は1人あたり年間最大6万円となる。

****ワーク・ライフ・バランス等推進事業所**



従業員の仕事と家庭生活の両立支援などに積極的な取り組みを行っている市内の事業所を浜松市が認証

*****高齢者活躍宣言事業所**



70歳になっても働くことが可能な環境を整備し高齢者の雇用に積極的に取り組んでいる市内の事業所を浜松市が認証

<補助対象者>

- ① 2022年3月に大学、大学院、短大、高専、専修学校（専門課程）を卒業予定者、または、既卒3年未満者（既卒者は、2019年3月卒業以降が対象）
- ② 2022年4月に認定企業へ正社員として就職し、浜松市に住民票がある者
- ③ 独立行政法人日本学生支援機構の貸与型奨学金、その他自治体を実施する貸与型奨学金などを返還または返還している者
- ④ 補助金交付申請時（就職した翌年度の10月以降）に、1年以上就業が継続している者

浜松市 UIJ ターン就職促進に係る企業、高校、大学等実態調査



H28年1月のコロナ禍の前に実施した調査だが、以下の傾向がわかる。

- ① 浜松市内の高校生は約7割が進学する。進学先の地域は、専門学進学者の約8割は静岡県内であるが、大学進学者は約4割が静岡県内で中京圏と首都圏が約2割ずつである。
- ② 大学生や専門学校生の就職先は、県内学生の約4割は浜松市内の企業に就職しているが、県外学生で浜松市内の企業に就職するのは約2割である。
- ③ 浜松市内の企業に就職しなかった理由として、県外学生の約7割は「希望する企業が無かった」とし、「希望したが内定が無かった」「希望する職種が無かった」「都会で生活したかった」がそれぞれ約3割ずつとなっている。
- ④ 浜松市内へのUターン就職へ不安に思うことや困ったことは、約4割が「就職先の確保」を上げており、「浜松市内の就職情報不足」や「距離が遠いため交通費等がかさむ」がそれぞれ約3割となっている。



執筆 = 西川公一郎：元浜松市議会議員、防災士
浜松市中区 在住 ko-ichi@24kawa.org